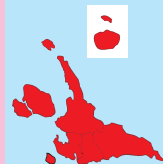


# いやす 農漁村空間 宮古

MAP



宮古地区

宮古群島は8島からなり、沖縄本島の那覇市から空路で40分を要し、羽田・関西空港からの直行便もある身近な離島だ。1市3町2村すべてが海に面しており、最も高い所で114mと、島全体がおおむね平坦で低い台地をなしている風光明媚な島だ。空港を出て車窓から広がるさとうきび畑を見渡しなが、南西に20分程行くと、宮古本島と来間島を結ぶ、農道（来間大橋）がある。白い橋と海のエメラルドグリーンのコントラストが心をなごませてくれる。宮古本島の最東端には、日本の都市公園百選の一つである東平安名崎があり、岬の先端に向かって右手が太平洋、左手が東シナ海と360度のパノラマが楽しめ、心身ともにリフレッシュできる。



## 【サバオキ公園】

伊良部町の見晴らしのよい高台にある公園で、高さ数十メートルの断崖絶壁が続くダイナミックな海岸線と、眼下の海の美しさは格別だ。春には真っ白な百合の花が咲き乱れる。（伊良部町）



## 「憩える 農村と自然」

### 【フクギ並木】

昔から防風垣や建築材として貴重なフクギ（おとぎりそう科）。多良間村は、フクギの里と呼ばれるほど村を代表する樹で、集落を取り囲むように随所に見られる。農作物を災害から守る保護林として有名。塩川御獄へ続く参道650m程のフクギ並木と御獄を囲む植物群落は天然記念物として県指定文化財となっている。（多良間村）



### 【畜舎の広場】

畜舎のそばに広場を設け、休日には仲間同志のグラントゴルフで体力づくりを楽しむのこの広場。（平良市）



### 【ハイビスカスの垣根】

集落全体がハイビスカスの垣根に包まれており、しっかりと落ち着いた雰囲気をかもしだしている。（平良市）



### 【製糖工場のある集落】

宮古島の製糖工場は宮古製糖（城辺町）、沖縄製糖（下地町）があり、伊良部町と多良間村は各々宮古製糖伊良部工場、多良間工場がある。特に1月～3月はさとうきびを積載した大型トラックが行き交い、黒糖の甘い香りが集落全体をうろち、人々が活気づく。（城辺町）

# 美麗景観。

「春夏秋冬」緑豊かないのちの島。心地いい風を頬に受け、グリーントネルをくぐる。見渡せばエメラルドグリーンの海が広がり、透き通った水面は太陽の光でさまざまに輝く。ゆったりと流れる時の中で心豊かにゆかーまち。ちよっといき）



### 【来間大橋】

宮古島と来間島を結ぶ橋は日本一長い農道橋（1,690m）として1995年3月に開通した。サトウキビや葉タバコ等の収穫期にはトラックが行き交う。橋の上から見る海やリーフは太陽の色でさまざまに変化して美しい。（下地町）



### 【皆福地下ダム公園】

非常に水に乏しい宮古島が、豊富な地下水を人工的につくった止水壁（ダム）によって地下の岩石内の隙間に貯め、海への流出を防止する（総貯水量70万トン）実験地下ダムが昭和54年3月に完成した。これは地下ダム技術がほぼ確立した施設である。その上に整備された公園は緑にあふれ、住民の憩いの場として活用されている。（城辺町）

### 【東平安名崎】

島の最東端に細長く突き出した岬。右に太平洋左に東シナ海を望め、日本都市公園にも選ばれている。春は緑のじゅうたんを敷きつめたようなゴウライシバやデンノメの中から、テッポウユリや月見草、グラジオラス等があたり一面に咲き、岬の先端にそびえる白亜の灯台とエメラルドグリーンの海面とのコントラストは絶景。一帯の植物群落は県の天然記念物に指定。（城辺町）

